

## 瓦の歴史あれやこれや

会長コラム

なぜ孫七瓦なの  
(第一回 瓦伝来)

最初に「孫七瓦工業(株)」をいつもご愛顧いただき誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。皆様のおかげで今があると感謝しております。

日本瓦の歴史をシリーズで数回にわたり書いてみたいと思います。春夏秋冬の差が大きい風土(気温・風・雨等)に合わせた日本家屋の主な様式に木造建築があります。その木造住宅を守る外装材のひとつが屋根で、材料としては野草・藁・杉皮・木板・瓦などが古くから使用されてきました。その中の瓦について述べてみたいと思います。

日本の瓦の歴史を書きますとキリがありませんのでごくごく簡単に紹介致しますと、崇峻天皇元年(588年)に中国から朝鮮半島を経由して渡来した4名の瓦博士(4名の博士の名前は省略)によって伝えられたとき

れています。瓦は仏教の興隆とともに寺院建築で大きく発展しました。日本で初めて寺院の屋根に瓦が使われたのは今から1430年前。奈良県高市郡の飛鳥の地に建立された法興寺(地名から飛鳥寺ともいわれた寺で、奈良市にある元興寺の前身)です。この法興寺は移築され、元興寺にある極楽堂にはかつて飛鳥寺に葺かれていた当時の瓦が今も使用されています。



左側は本瓦葺き、右側は行基葺き

飛鳥寺の建立をきっかけとして法隆寺(若草伽藍)、四天王寺など次々と寺院が建てられ、瓦もそれらの屋根に「本瓦葺」と呼ばれる工法で葺かれていきました。



元興寺極楽堂 元興寺印より

孫七瓦工業株式会社の  
経営理念 II 目的理念

私たちは、日本建築の文化の継承と、伝統を活かした技術革新を通じて社会に貢献します。

行動理念

一、私たちは、安全で安心できる快適な住まいのある暮らしを提供します。(科学性)

一、私たちは、社会に信頼される会社となり、地域社会の発展に貢献します。(社会性)

一、私たちは、共に学び、共に育ち、全社員の幸福を追求します。(人間性)

この経営理念は孫七瓦工業株式会社が継続的・計画的に社会に役立つ企業としての根本的な価値基準です。

取り上げてほしいテーマや皆様のお屋根にまつわる体験談・お勧めのカフェや奈良のお勧め情報なども随時募集しております。

まごひち瓦版は不定期発行です、バックナンバーは弊社ホームページでご覧いただけます。

かわら版の送付停止をご希望の方は編集部までご連絡下さい。ご連絡と発送が前後した場合は次号より停止させていただきます。

〒636-0143 奈良県生駒郡斑鳩町神南3-13-13 孫七瓦工業(株) まごひち瓦版編集部

☎ 0745-74-1218 HP <https://www.magohichi.com>